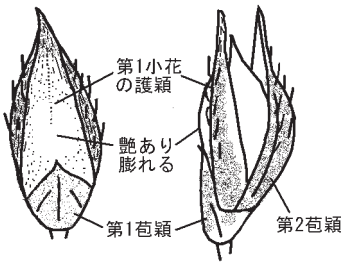
〔小穂に艶のあるイヌビエ属 Echinochloa 〕

（06年10月8日東京都八王子市の造成地）

（06年10月18日東京都羽村市、街路樹植込）

◆小穂の第1小花護穎の中央部は艶があり隆起する。従って中肋は不明か，やや白い線状であるが，この点がイヌビエとは明確に異なる。
◆八王子の個体も羽村の個体も，写真に見るとおりその部分が光っているのが見える。



◆葉の縁の白い硬化部は全くなく，ヒメイヌビエと同様である。
◆第１小花の護穎が膨らんで艶のあることは，タイヌビエやヒメタイヌビエと同様であるが，生育場所と，葉の形質が全く異なるので，これらと紛れることはない。

（同上全草）

（同上全草）

〔小穂に艶のあるイヌビエ属 Echinochloa 〕

2006年に小穂の第1小花の護穎(第３頴)が膨出して艶が目だつ，みなれないイヌビエ属植物に気付いた。第1小花の護穎が膨出して艶のあるものでは，湿地生のタイヌビエ，ヒメタイヌビエなどが知られるが，本種は市街地や少し乾いた場所でヒメイヌビエなどと共に生育し，生育環境が全く異なっている。最初に気付いたのは7月だったが採集はしておらず，その後10月8日に初採，10月18日に2回目の採集と，それぞれ異なる場所でたてつづけにであい，かなり広まっているのではないかと感じた。

小穂の色が緑色の場合が多いヒメイヌビエとは，小穂がやや黒味を帯びて小穂の大きさも異なり，遠目でも紛れることはない。葉の縁の白硬化部はヒメイヌビエ同様に全くみられない。小穂がやや黒味を帯びる点はイヌビエにも見られるので，イヌビエとの区別点は第1小花の護穎の形質となる。

興味のある方は，是非お探しいただきたい。見つけ方は簡単で，市街地のやや乾いたごく普通の環境で，小穂の黒っぽいイヌビエ属があったら小穂をつまんで，短い頴側の次の頴(第3頴：第1小花の護穎)が膨れて光っているかどうかである。

本植物がイヌビエの変化範囲になるのか別の分類群となるのかは，ご専門の先生方のご研究を待たねばならないが，従来このような性質のイヌビエ属は見聞きしていないので，帰化の可能性もあると考えている。

タイヌビエ(第3頴膨出)
(水田･湿地)

ヒメタイヌビエ(同膨出)
(水田･湿地)

ツヤイヌビエ(同膨出)
(路傍･草地)

イヌビエ(第3頴平坦)
(湿地･湿地付近)

ヒエ(同平坦)
(路傍･草地･畑地)

ヒメイヌビエ(同平坦)
(路傍･草地)

◇イヌビエ類の小穂を同縮尺で並べた。**ツヤイヌビエ**はヒメイヌビエより小穂は大きく，イヌビエやヒメタイヌビエなどより小さい。
◇第３頴が膨出するのは，本種**ツヤイヌビエ**と，タイヌビエ・ヒメタイヌビエ。
◇路傍・草地など中生的場所に生育するのは，本種**ツヤイヌビエ**と，ヒエ・ヒメイヌビエ。

最初に採集した八王子市の個体も，次に採集した羽村市の個体も，根茎が地下で短く這っているようにみえたが，その後の調査では根茎はみられず小株となることが判明した。

当初ツヤハイイヌビエと仮称し，私サイト検索表『イヌビエ属』にも掲載したが、上記理由により適切でないことがわかり，仮称ツヤイヌビエと訂正する。(2006/10/20初稿，2012/11/28改変　山口純一)

現在迄に確認した生育地(県名なしは東京都)
12/10/05羽村市小作台，11/07/23八王子市小吹町，10/08/08羽村市羽根中，10/07/15日野市栄町，09/09/13埼玉県日高市横手，09/09/10福生市福生，09/09/07昭島市大神町，07/08/22青梅市小曾木，06/10/18羽村市小作台，06/10/08八王子市丹木町初採。